

桜丘高等学校

JRC部

高校生ボランティア・アワード2020

奉仕、国際交流、健康安全 活動概要

青少年赤十字の理念「健康・安全」「奉仕」「国際理解・親善」に基づく活動を行っています。定期的に行っている活動としては、上野動物園迷子相談、あしなが学生募金、地域の子ども会などの団体への協力を行っています。また、2つの老人ホームにて定期的にボランティア活動を行っています。毎年夏に行われる老人ホームの夏祭りには模擬店を出したり、お年寄りとの交流を行っています。本校で毎年、学園祭で行われる国際ボランティア講演会ではカンボジアやザンビア、フィリピンなどで孤児院を展開するNPOの石孤児院から講師を招き実際のカンボジアの孤児たちのお話を聞いており、JRC部では毎年、広報活動として学園祭で孤児たちに関する展示を行っています。その他、赤十字の活動に参加し、救急法講習会に参加したり、昨年度は東京、北京、ソウル3都市の青少年交流のプログラムに部員が代表として選出され参加してきました。また、NPO移植支援協会主催のコンサートの手伝いをするなど、ボランティア活動の範囲も広がり、部員も増え、活動も活発になってきています。



「キャッチコピー(キーワード『志』)」 活動の目的・志など

私たちは「国際理解・親善」「健康・安全」「奉仕」という活動の理念をもとに、人のために何かを行う、人のために役立ちたいという志を持って活動を進めていきます。国内の弱い立場にいる方々を助け、海外の困っている方々の何か役にたてることはないかを考え、活動をしていきます。時には雑用であったり、時には広報活動であったり、さまざまな方法を通してこの活動目標を実践していきます。

「活動目標」(活動の「今」を表すワン・ワードなど)

活動の詳細(実施内容/成果・実績など)

学園祭で毎年行われる国際ボランティア講演会。NPO法人の石孤児院から講師を招き、特にカンボジアの孤児たちの話を聞いています。私たちJRC部は学園祭でその展示を行っています。世界には多くの孤児がおり、多くの貧困が存在します。その話の中では日本では考えられない貧困の厳しい現実が語られています。子供を売り飛ばし、酒を買い、そのお金がなくなるとまたその子連れ戻し、また売り飛ばす。そんな父親を、一言で「人でなし」とは断罪できない、と講師は語りました。もし自分がそんな貧困の現実に直面していたら同じことをしない保障はないからと言っていました。現地に行かないとわからないこともありますが、ただ話を聞くだけでその厳しい現実が伝わってきます。私たちは孤児院の子どものことを聞き、調べ、展示を行っています。日本ではそのような貧困はないかもしれませんが、しかし、弱い立場の方々が病気や障害、高齢のために厳しい現実に直面している方々はおられます。そのような弱い立場の方々に高校生である私たちにどんなことができるのか、してあげられるのか、そんなことを考え、話しあって、いまできることをしていきたいと思っています。練馬区の2つの老人ホームには、年に2~3回、草取りや掃除のボランティアに伺っています。また、夏祭りには模擬店のお手伝いやお年寄りの方々との交流を持っています。校内では使用済み切手の収集を呼びかけ、北区ボランティアセンターに寄付しています。また1円玉募金を呼びかけて赤十字社に寄付しています。熊本地震が起きたときには校門に立って募金を呼びかけました。

- 上野動物園迷子相談
- あしなが学生募金
- 北区子供会ボランティア
- NPOの石孤児院広報活動
- 練馬キングスガーデン(特別養護老人ホーム)ボランティア
- 使用済み切手収集
- 練馬の丘用語老人ホームボランティア
- 救急法講習会
- 3都交流プログラム
- 熊本地震募金
- NPO移植支援協会主催コンサート
- 案内受付ボランティア
- 上野動物園迷子相談



1円玉募金

NPO移植支援協会主催コンサート

図表なども使って見やすく、解りやすく

「キャッチコピー(キーワード『夢』)」 今後の展望・夢など

国際化の時代、夢は世界に広がります。日本では大きな震災がありました。私たちがの学校では毎年、東北の被災地を訪問しています。個人としてのボランティアですが、東北の被災地に行った部員もいます。世界には同じように被災した方々があり、孤児院の活動の中で見えてきた世界の貧困問題もあります。世界の苦しんでいる人たちのために、何かできないだろうか。それを問い、考え、実際の行動に移せていけたらと思っています。



活動団体プロフィール

桜丘中学高等学校JRC部(青少年赤十字部)
 中学、高校を合わせて20名の部員で活動しています。
 クラブ活動として創部から38年。様々なボランティア活動に取り組んでいます。